

資料 5

第 1 回京都市中学校教科書選定委員会会議概要

1 日時

令和元年 5 月 2 0 日（月） 1 8 時 3 0 分から 1 9 時 0 0 分まで

2 会場

京都市総合教育センター 永松記念ホール

3 出席者

(1) 選定委員 2 6 名

(2) 教育委員会事務局

在田教育長，佐藤総合教育センター所長，清水指導部担当部長，
清水指導部顧問，安藤学校指導課長，関学校指導課担当課長，
太田統括首席指導主事，竹内統括首席指導主事，
安居首席指導主事，中澤首席指導主事 他

4 議事

教科書選定に関わる教育長からの諮問及び教育委員会事務局からの説明の後，委員の互選により正副委員長が選出された。

(1) 在田教育長から挨拶及び令和 2 年度に使用する京都市立中学校及び義務教育学校（後期課程）で使用する教科書の選定についての諮問を行った。

(2) 安居首席指導主事から教科書選定の進行，公正確保等についての説明を行った。

(3) 委員の互選により委員長に坪井聡委員が，副委員長に浅井和行委員が選出された。

第2回京都市中学校教科書選定委員会会議概要

1 日時

令和元年7月8日（月）18時00分から18時30分まで

2 会場

京都市総合教育センター 1階 第2研修室

3 出席者

(1) 選定委員 18名

(2) 教育委員会事務局

佐藤総合教育センター所長，清水指導部担当部長，清水指導部顧問，安藤学校指導課長，
関学校指導課担当課長，太田統括首席指導主事，安居首席指導主事 他

4 議事

(1) 委員長から挨拶が行われた。

(2) 答申案について事務局から説明を行った後，外部委員からの意見を踏まえ，協議した。

(3) 答申案については，委員長提案により正副委員長預りとすることで了承された。

5 外部委員の主な意見と調査員及び事務局の回答（事前の選定委員会資料説明での協議含む）

(1) 構成や教材等について

・いずれの教科書も情報量が豊富だが，教科書以外に副教材や資料集等も使用されるのか。

→副教材や副読本の使用は各校裁量であるが，教科書の情報量が豊富になってきたことから，
副読本等の使用状況は減ってきている。

・話し合いやグループ活動等が多く取り入れられている。生徒同士の対話は自分の考えや意見を
を整理したりする上でも大切であると思う。

→各社とも対話的な活動を促すため，多様な学習活動を提案しており，次期学習指導要領の趣
旨にも一致している。

・社会科は分野間の連携が図られているのか。また，4年前の時点で検定合格された内容である
ため，特に社会科においては，時事的な部分の更新等は教員が指導を工夫する必要がある。

→歴史的分野の内容に関連付けて地理的な認識を深める活動を取り入れるなど，公民的分野も
合わせ，横断的な視点で学びを深められるよう工夫されている。時事的な部分については，
直近の動静を指導者が補足しながら，授業が進められているところであり，引き続き，留意
したい。

・現行の学習指導要領に基づく教科書採択であるが，新学習指導要領において充実が図られる
部分等についても意識する必要がある。複数領域で学んだことをまとめ，発表する活動が設
定されるなど，「主体的・対話的な学び」にもつながるものと捉えてよいか。

→新学習指導要領の総則部分については既に全面実施されていることを踏まえ，「主体的・対
話的で深い学び」の実現といった視点も含め，調査研究を行っている。教科学習を踏まえ，
自身で課題を見だし，調べ，整理し発表する「ポスターセッション」に取り組む学校も増
えてきており，各校で探究的な力の育成に向けた工夫が行われている。

(2) 指導方法等について

- ・現代的な課題への考察を深める内容も取り扱われている。生徒の自由な発想・思考を生かし、多面的・多角的な視野をもち、探究的な見方を深められるよう、指導上の工夫もお願いしたい。
- 新学習指導要領でも求められている視点であり、研修等を通じて指導力の向上を図っていく。
- ・美術科での美術館・博物館の見方や「デザインで障がい者の夢を形にする」といった題材、書写における受検願書等の例示など、社会や日常生活を関連付けて、現代的な諸課題について意識されている題材が多く、学びを生かせる場面が想定しやすくなっている。学校での学びを生かす場面が、これからの社会で数多くあるという視点を生徒が持てるよう、指導上の工夫もしてほしい。
- 各教科書で「社会とのつながり」を意識した題材が随所でみられる。学校での学びが社会に役立つという意識が生徒の学ぶ動機づけとなるため、実生活との関連を意識した授業となるよう、授業改善を進めていきたい。
- ・学習の手順や方法が丁寧に示されており、使いやすい反面、教員の指導上の裁量を狭めることにならないか。授業構想がやはり大切であると思う。
- 多様な生徒がいる中で、教科書に丁寧に示されていることは効果的ではあるが、生徒の発想力や指導者の裁量を狭める危惧はご指摘のとおりである。ただ、あくまで教科書は教材であり、授業を行うのは教員であるため、指導力の向上に向けて、今後とも取り組んでいきたい。

(3) 生徒への配慮等について

- ・教科書や副読本等で、生徒の持ち物の重量が相当重くなっており、体への負荷が大きくなってきているのではないかと思う。教科書会社も重量等にも配慮されていると思われるが、今後、生徒への負担軽減ということもできれば考慮してほしい。
- 各校で持ち物の精選や置き勉などの工夫もされているが、今後も検討していきたい。
- ・特性や障がいのある生徒に対する配慮はいかがか。
- どの教科書もユニバーサルデザインなどが意識されており、アレルギー対応本や拡大教科書なども用意されている。生徒一人一人の特性等に応じた対応に努めていく。